

ジーンズ加工技術の多分野展開と発信拠点整備

事業者名	株式会社WHOVAL
所在地	倉敷市児島上の町1-12-21
主な業種	アパレル製品製造業
事業概要	ジーンズ加工技術を応用し、アートや生活雑貨を開発・販売。併設カフェで世界観を体感できる場とし、発信力と回遊性を高める。
支援機関	児島商工会議所



加工技術の非衣料分野への展開

当社は、ジーンズの洗い・染色・ダメージ加工を専門とする加工工場であり、特に高感度かつ高難度な表現力に強みを持つ。近年はOEM事業を中心に、サンプルから量産まで一貫対応する体制を築き、東京を中心に100社超のブランドと取引を拡大している。本事業では、こうした加工技術を衣料分野に限らず、アート・空間・ライフスタイル領域に応用展開。たとえば、インディゴの濃淡を活かしたアートパネル、ダメージ加工を用いたクッション、レーザー柄の照明など、新たな生活提案として再構築する。加工という無形資産に別の角度から収益性と発信力を付加することで、当社の事業基盤を広げると同時に、児島のものづくり全体の可能性も押し上げる取り組みとする。

美観地区での体験型展示・販売拠点の整備

本事業では、倉敷美観地区の改装物件2階に、当社の加工技術を用いた製品の展示・販売拠点を整備する。空間にはカフェ機能を併設し、加工を施した家具・器・照明に囲まれながら過ごすことで、製品の使用シーンを自然に体感できるよう設計する。また、展示されているアート作品を来場者自身が制作できるようなワークショップもイベント的に開催し、加工への理解と共感を深める場とする。物件は観光地の喧騒からやや離れた静かなエリアにあり、落ち着いた空間を好む高感度な層との親和性が高い。単なる販売にとどまらず、暮らしの中で加工技術に触れ、深く知ることができる拠点として整備する。

観光と体験価値を起点にした提案

本事業は、加工技術を活用した製品の展示・販売のみならず、来訪者が実際にその技術を体験できるワークショップや空間演出を組み合わせ、観光とものづくりの接点をつくる取組である。特に、量産型観光ではなく“滞在型”を志向する感度の高い来訪者に対し、静かで落ち着いた美観地区の環境が深い共鳴を生むことを想定している。滞在を通じて技術の奥行きや地域の文化に触れることができるこの事業は、観光の質を高め、リピーター層の獲得にもつながる。加えて、地域の観光・飲食・宿泊・工芸など他産業との連携により、エリア全体の価値向上と地域経済の複線化を図ることができる。ここで確立した仕組みや顧客接点の構築方法は、今後ジーンズストリート等への転用も視野に入れた展開を行っていく。